

# 人生における永遠のテーマとは( ^ω^ )...

先日は3年生合唱コンクール、2年生ナイスライ（職場体験）発表会、1年生授業参観と、たくさんの保護者にご来校いただき、ありがとうございました。今回は学校評議員の皆さんやナイスライでお世話になった事業所の方々など、保護者だけでなく、多くの大人の方に生徒の活躍の場を見ていただくことができました。



1年生授業参観

2年生のナイスライ（職場体験）では普段、接することがない方々との出会いがありました。たった5日間でしたが親切に対応してくださった事業所の皆さんとの交流は子どもたちにとっても貴重な体験であったと思います。

人は生きていく中で人との関わりなしでは生きていけません。これから子どもたちが会う様々な人の中には、自分にとって「いい人」もいればそうでない人もいます。人それぞれに顔が違いうようにいろいろな考え方や価値観を持っています。これから先、自分にとって苦手と感じる人や考え方が全く違う人とも必ず出会います。というかもうすでに出会っているのかもしれませんが、できれば自分にとって「心地いい人」とだけ



2年生ナイスライ発表会

つながり、ストレスなく毎日を過ごせればどんなにいいか と思います。しかし、現実とは違います。社会に出て誰かとチームを組んで仕事をするとき、苦手な人と仕事をしなければいけない時

もあります。それを避けていては仕事になりませんし、職場から必要とされなくなる可能性もあります。これからの子どもたちには、自分の意見をしっかりと持ちつつも、相手とのコミュニケーションのなかで折り合いをつけながら物事を前に進める力がとても重要になってきます。どんなに世の中が変わろうと、この力が大切なことは変わりません。学校では、友だちや先生など、いろいろな人との交わりの中でお互いの「違い」を認め、相手を「尊重」することを学んでいます。SNS では好きな人とだけ交流すればよく、嫌いな人は削除したり、ブロックしたりできる一方、学校ではリアルの人間関係を学びます。「この人と同じグループは嫌だ」「このクラスは誰も話す人がおらん」とよく耳にしますが、自分が知らない考え方や価値観に触れる時こそ「人を見る目」を育てる成長のチャンスです。

子どもたちの『自立』のためには「人との関わり方」がとても重要となります。人の悩みの8割は「人間関係」と言われています。大げさなようで実は大げさではない、『人間関係』は人生、永遠の課題です。お子様が悩んでいるとき、ただ大人が介入し、解決してあげてもそこに学びはありません。さまざまな悩みを乗り越えてこられた人生の先輩として、お子さんに寄り添いながら、一緒に考えることが大切のようです。もちろん学校へも遠慮なくご相談ください。ともに学んでいきましょう！



3年生合唱コンクール